
お正月と初詣

紅優也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お正月と初詣

【Nコード】

N0790BA

【作者名】

紅優也

【あらすじ】

お正月の短編小説です。
前回の大晦日の続きです。

ゼロムSIDE

ゼロム「昨日は散々な目にあつたなあ……」

お陰で逆上せるし旅館の人に怒られるし八神部隊長がコップにお酒を入れていて皆ベロンベロンに酔うわで踏んだり蹴ったりだよ。

ペテロ「あ、ゼロム兄さん。

あけましておめでとう。」

ゼロム「あ、ペテロ。

うん、あけましておめでとう。」

僕は八神部隊長に呼ばれて八神部隊長の部屋に行く途中でペテロに出会った。

ペテロ「ん？ゼロム兄さんも八神部隊長に呼ばれてるの？」

ゼロム「へ？『も』って事はペテロも？」

ペテロ「うん。」

……何の目的で呼んだんだ？

紅秀吉「ゼロムにペテロかの。

あけましておめでとうじゃ。」

バカ恋秀吉「上に同じじゃ。」

ペテロ「あ、木下さん。

あけましておめでとうございます。」

ゼロム「今年もよろしく願います。」

僕とペテロは二人の木下さんにペコリとお辞儀をする。

ペテロ「ところでバカ恋の木下さん、昨日は何もありませんでした

よね……／＼／

ペテロが何故か顔を赤くしながらバカ恋の木下さんに尋ねる。

バカ恋秀吉「？何を言っておる何も無かったのじゃ。」

紅秀吉「ワシはスバルと雷が夜這いを敢行してきてそれを追ってきた星と闇の所為で中々眠れなかったのじゃ……」

作者の木下さん……昨日のドタバタはそれが原因か……

ペテロ「僕の入る部屋の隣の部屋が神薙さんとアリスさんで……あの……その……喘ぎ声が聞こえてきて……／＼／」

バカ恋秀吉「あやつら……！」

紅秀吉「隣に純情な子供が入るのにのう……」

僕も同感です。

ヨハネ「よう……（ぐったり）」

何故か激しく疲労しているヨハネも来た。

ゼロム「ヨハネ！？一体どうした！？」

ヨハネ「隣がバカ恋の坂本さんと霧島さんだったんだよ……んで酒に酔った勢いだったんだろうけど喘ぎ声が聞こえてきてな……それで美波とだったら……って妄想のお陰で眠れなかった。」

……大変だったんだな。

紅ムツツリー「……………」

作者の土屋さんが大量の鼻血を出して倒れていた。

全員「……………これは聞くまでも無いな（のう）（無いね）。」「」

……
どうせ隣の部屋のバカ恋の土屋さんと工藤さんの喘ぎ声を聞いてそれを妄想したら轟沈したんだろう。

紅明久「皆、あけましておめでとう〜！」

一夏「よう……皆、あけましておめでとう。
今年もよろしくな。」

士郎「あけましておめでとうだ。」

ザフィーラ「今年もよろしく頼む。」

皆が作者の土屋さんの鼻血の理由を納得していると向こうからちょっと疲労しているが元気な作者の吉井さん、織斑さん、衛宮さん、ザフィーラさんが……ん？

まさか……

ゼロム「あ〜昨日はお楽しみだったみたいですな。」

一夏、士郎、ザフィーラ「「「違う！！酔った勢いなんだ！！！」」」

紅明久「あはは……やっぱり解る？」

やっぱり……

多分シグナムさん達も凄く幸せそうな……あれ？

ゼロム「そう言えば今まで女子陣と会ってませんけど……どうしたんでしょうか？」

ヨハネ「あ、そういやそうだな。」

ペテロ「本当にどうしたんだろう？」

僕等はそうこうしている内に八神部隊長に言われた部屋の前に着いた。

紅明久「あれ？バカ恋の僕、どうしたの？」

バカ恋明久「あ、紅優也の僕。」

実は八神さんに呼ばれたんだけど直ぐには入れてくれないみたいなんだ。」

直也「他の奴等も同じみたいなんだ。」

一麻「女子陣は直ぐに通していたけどな。」

綾人「何でか衣擦れの音や『これが良い。』とか『あれが良い。』とかいう何かを選んでる声も聞こえてくる。」

バカ恋雄二「そっぴや紅優也の俺やムツツリーニはどうした？」

紅優也「ムツツリーニは鼻血、雄二は昨日霧島とハネムーンに行っ
たよ。」

紅明久「雄二いいいいいいいいいい！！」

バカ恋明久「紅優也のムツツリーニ……何が合っただ……」

バカ恋ムツツリーニ「（……もしかしてあれか？あれが原因なのか
！？）」

ゼロム「そして作者は何時の間に！？」

紅優也「ついさっき。」

そんな事を言っている内に……

はやて『みんな~~~~入ってきててもええで~~~~。』

八神部隊長の声が聞こえた。

ゼロム「あ、は~~~~い。」

そっぴって襖を開けて……瞬間男子全員が絶句した。

キャロ「えへへ……ゼロム君……似合うかな？ノノノ」

そこには……色々な柄の振り袖をきた女子陣が居た。

ゼロム「……は！？す、凄く似合うよ！」

ヴィヴィオ、雪菜「（ヴィヴィオ）私は？（うるうる）」

ゼロム「あ、勿論キャロだけじゃなく雪菜にヴィヴィオも似合うか
らね！」

明久、士郎、一夏、ザフィーラ「……ゼロム、そんな事だからお

前は子供ハーレムとか言われるんだぞ……」「」「」
何故か吉井さん達が呆れ顔になった。

因みにキャロは桃色に桜の柄をちりばめた振り袖を着ていてヴィヴィイオは白に藍色の花をちりばめた振り袖を着ていて雪菜は蒼に雪の花をちりばめた振り袖を着ていた。

ティアナ「えへへ……いきなり八神部隊長に連れてこられて見れば色んな振り袖があつてびっくりしたけど……皆で初詣に行くためだつて。／＼／」

ヨハネ「え、えらく気合い入ってるな……」

はやて「当たり前や！今日はこんなに仲良しカップルがいるんやからド派手にせんと！」

呆然としてるヨハネに八神部隊長が目には炎が灯った表情で言った。

一夏「シグナム……似合い過ぎ……（どさ）」

一麻「うわ！？一夏がシグナムさんの振り袖姿を見て鼻血を噴きながら気絶した！？」

うん、色々とカオスになりかけているから速く行かないと！

僕等は気絶している織斑さんを何とか蘇生し初詣に出発した。

……
神社にて……

ゼロム「うわあ、凄い混んでる！」

ヨハネ「まあ、当然だけどな。」

バカ恋明久「奏、離れないようにね。」

奏「あ、はい。」

はやて「皆〜〜バラバラにならん様にな？」

僕等は神社の凄い混雑にもみくちやにされながらも何とかお賽銭箱にたどり着く。

ゼロム「（願い事があ……『今年もキャラや皆と仲良く過ごせますように』。）」

ヨハネ「（願い事ねえ……『今年も美波とお袋が健やかに過ごせますように頼むぜ神様。』）」

ペテロ「（願い事……『今年も皆やヴィータが健康で入れますように。』）」

一夏「（願い事が……『今年もシグナムや千冬姉達が元気で入れますように。』）」

士郎「（願い事……『今年もシャマルや皆が幸せでありますように。』）」

唯「（願い事が……『ザッフィーとの仲がより一層進展しますように』。）」

紅明久「（願い事なんて決まってるよ『ティアナ今年も健康でありますように』。）」

???『その願い叶えてしんぜよ〜〜。』

今何かの声が聞こえた気がするんだけど!?

……何も聞こえない……気のせいかな。

………

第三者SIDE

初詣から数時間後……

旅館に帰ったゼロム達は羽根つきや百人一首等お正月にやる遊びをたっぷりやり（但し羽根つきは紅明久とバカ恋明久の戦いがヒートアップし旅館中を駆け回る戦いになったが……）バカ恋メンバーと

別れを告げてそれぞれの居場所に戻った。

そして……

キャラ「ゼロム君……」

ゼロム「ほえ？」

キャラ「願いたい事何にしたの？」

ゼロム「え！？な、何でそんな事を……／／／」

キャラはゼロムの問いに少し黙りつつ告げた。

キャラ「……私の願いが『ゼロム君と今年も楽しく過ごせますように。』だから。／／／」

ゼロム「！?!?!?!」

キャラの願いにゼロムは驚愕しやがて告げる。

ゼロム「あはは……僕は『今年もキャラや皆と楽しく過ごせますように。』だよ。」

キャラ「そっか……」

キャラはその答えに安心した様にゼロムの肩に頭を乗せそのままスーと寝息をたてて寝てしまう。

ゼロムはそれを見て苦笑いをしつつもキャラの顔をそつと撫でた後自分もキャラの肩に頭を乗せそのまま目を閉じた。

今年も宜しく願いします!!

（後書き）

如何でしたか？

今年も宜しく願います！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0790ba/>

お正月と初詣

2012年1月1日21時45分発行